

早期景気観測調査

【4-5月期 調査結果概要報告書】

平成30年6月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成30年5月15日(火)～31日(木)
4. 調査対象： 当所会員138事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 100件
7. 有効回答率： 72.5%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【4-5月期の動き】

**全体業況は4期連続の悪化も小幅な変化で、3業種では業況改善。
向こう3カ月の業況は、悪化の見通し。**

4-5月期の全業種総合の業況DIは、▲27.0（前期比▲1.5ポイント）と小幅ではあるが4期連続の悪化となった。売上DIが2期連続で悪化、仕入単価DIも悪化に転じている。一方で、採算DIは改善に転じ、従業員DIについても2期連続で改善したが人手不足感が高まり、平成13年以来最高の水準となっている。金融貸出しDIについては、2期連続の小幅な悪化となった。

向こう3カ月の先行き業況は、悪化する見通し。

業種別では、製造業、卸売業で悪化し、建設業、小売業、サービス業で改善した。

製造業の業況DIは▲8.7（前期比▲8.7）と2期連続の悪化となった。売上DIが6期ぶりに悪化に転じ、採算DIについても2期連続の悪化となった。一方で、仕入単価DIは2期連続で改善している。従業員DIは、5期ぶりにポイント悪化も人手不足感は緩和。金融貸出しDIは、2期連続の小幅の悪化となった。

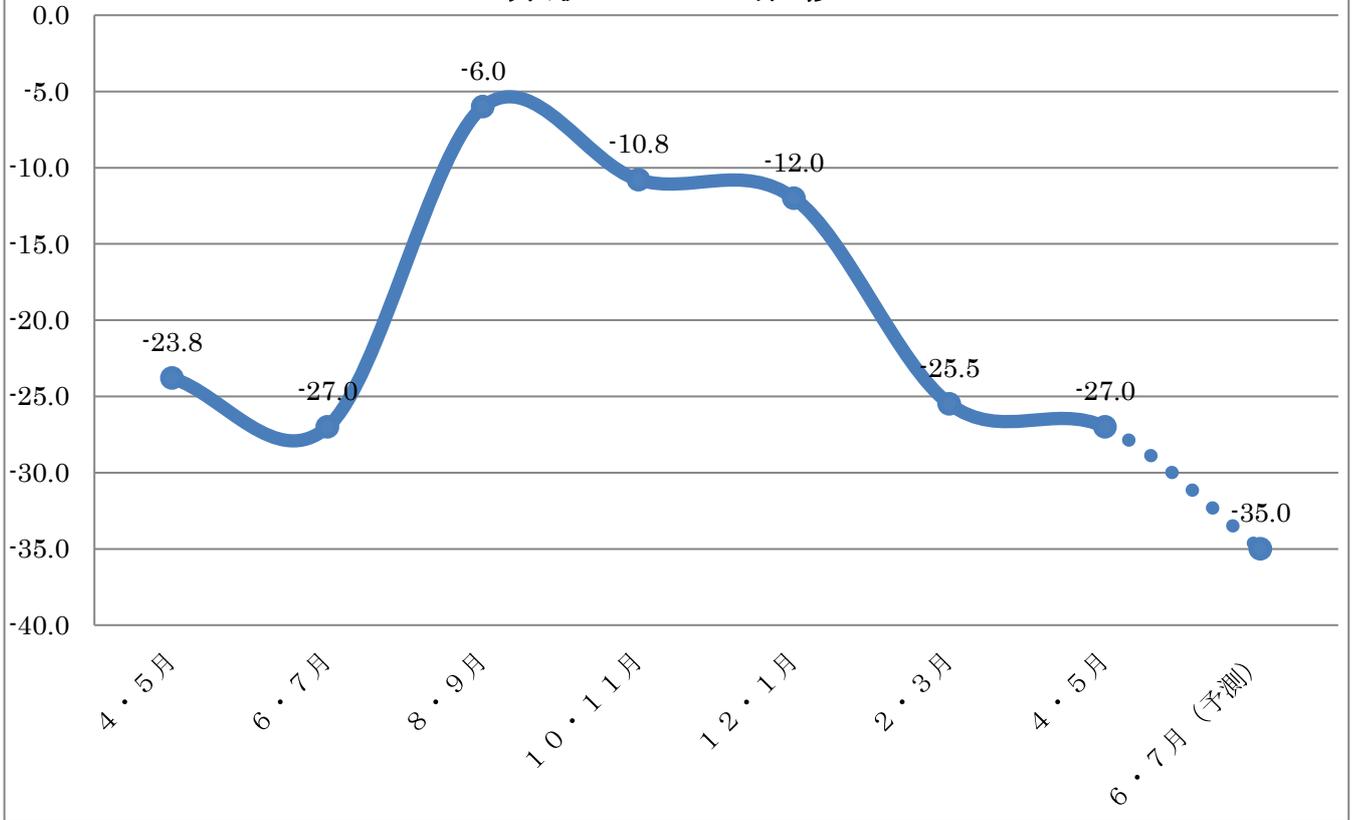
建設業の業況DIは▲31.6（前期比+5.2ポイント）と改善に転じた。売上DIは横ばい。仕入単価DIは悪化に転じたが、一方で採算DIは改善に転じ、従業員DIについても2期連続で改善したが、人手不足感には拍車がかかっている。金融貸出しDIについては悪化に転じている。

卸売業の業況DIは▲31.6（前期比▲14.9ポイント）と2期連続の悪化となった。仕入単価DIは2期連続で改善したが、一方で売上DIは悪化し、36.3ポイントの大幅なマイナス、採算DI、従業員DIはともに2期連続の悪化となった。金融貸出しDIは小幅な悪化となっている。

小売業の業況DIは▲23.8（前期比+12.2ポイント）と4期ぶりに改善に転じた。売上DI、採算DI、仕入単価DIが、いずれも2期連続の改善。従業員DI、金融貸出しDIについても改善に転じているが、従業員の不足感は増している。

サービス業の業況DIは▲44.4（前期比+2.3ポイント）と改善に転じた。売上DI、採算DI、金融貸出しDIは、いずれも改善に転じ、とりわけ採算DIは27.8ポイントの大幅なプラスとなっている。従業員DIについても3期連続の改善となったが、人手不足感は増加。唯一、仕入単価DIのみ悪化に転じている。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

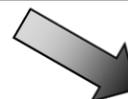
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲27.0	▲35.0	▲29.0	▲27.0	▲42.0	25.0	▲3.0

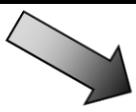
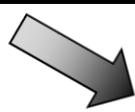
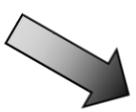
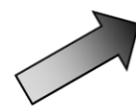
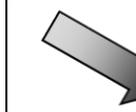
4-5月期の全業種総合の業況D I は、▲27.0（前期比▲1.5ポイント）と小幅ではあるが4期連続の悪化となった。

項目別では、売上D I（▲21.6→▲29.0）が2期連続で悪化、仕入単価D I（▲38.2→▲42.0）も悪化に転じている。一方で、採算D I（▲28.4→▲27.0）は改善に転じ、従業員D I（21.6→25.0）についても2期連続で改善したが人手不足感は高まり、平成13年以来最高の水準となっている。金融貸出しD I（▲2.0→▲3.0）については、2期連続の小幅な悪化となった。

向こう3か月の先行き業況は、▲35.0と悪化する見通し。

◆ 業種別

製造業

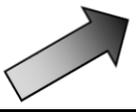
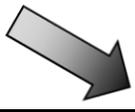
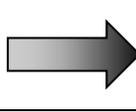
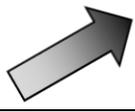
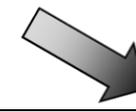
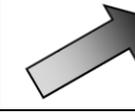
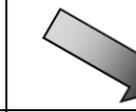
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 8. 7	▲ 1 3. 0	▲ 4. 3	▲ 1 7. 4	▲ 8. 7	2 1. 7	▲ 4. 3

業況D Iは▲ 8. 7（前期比▲ 8. 7）と2期連続の悪化となった。

項目別では、売上D I（8. 0→▲ 4. 3）が6期ぶりに悪化に転じ、採算D I（▲ 4. 0→▲ 1 7. 4）についても2期連続の悪化となった。一方で、仕入単価D I（▲ 1 6. 0→▲ 8. 7）は2期連続で改善している。従業員D I（2 8. 0→2 1. 7）は、5期ぶりにポイント悪化も人手不足感は緩和。金融貸出しD I（▲ 4. 0→▲ 4. 3）は、2期連続の小幅の悪化となった。

向こう3か月の業況は、▲ 1 3. 0と悪化する見通し。

建設業

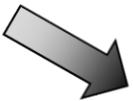
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 3 1. 6	▲ 4 2. 1	▲ 3 1. 6	▲ 2 6. 3	▲ 6 3. 2	3 1. 6	▲ 5. 3

業況D Iは▲ 3 1. 6（前期比+ 5. 2ポイント）と改善に転じた。

項目別では、売上D I（▲ 3 1. 6）は横ばい。仕入単価D I（▲ 4 7. 4→▲ 6 3. 2）は悪化に転じたが、一方で採算D I（▲ 3 6. 8→▲ 2 6. 3）は改善に転じ、従業員D I（2 1. 1→3 1. 6）についても2期連続で改善したが、人手不足感には拍車がかかっている。金融貸出しD I（5. 3→▲ 5. 3）については悪化に転じている。

向こう3か月の業況は、▲ 4 2. 1と悪化する見通し。

卸売業

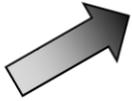
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲31.6	▲26.3	▲47.4	▲36.8	▲42.1	31.6	5.3

業況D Iは▲31.6（前期比▲14.9ポイント）と2期連続の悪化となった。

項目別では、仕入単価D I（▲44.4→▲42.1）は2期連続で改善したが、一方で売上D I（▲11.1→▲47.4）は悪化し、36.3ポイントの大幅なマイナス、採算D I（▲27.8→▲36.8）、従業員D I（38.9→31.6）はともに2期連続の悪化となった。金融貸出しD I（5.6→5.3）は小幅な悪化となっている。

向こう3か月の業況は、▲26.3と改善する見通し。

小売業

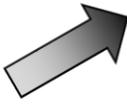
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲23.8	▲57.1	▲28.6	▲19.0	▲33.3	19.0	▲4.8

業況D Iは▲23.8（前期比+12.2ポイント）と4期ぶりに改善に転じた。

項目別では、売上D I（▲36.0→▲28.6）、採算D I（▲24.0→▲19.0）、仕入単価D I（▲36.0→▲33.3）が、いずれも2期連続の改善。従業員D I（8.0→19.0）、金融貸出しD I（▲8.0→▲4.8）についても改善に転じているが、従業員の不足感は増している。

向こう3か月の業況は、▲57.1と大幅に悪化する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲44.4	▲38.9	▲38.9	▲38.9	▲72.2	22.2	▲5.6

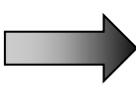
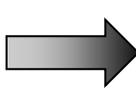
業況D Iは▲44.4（前期比+2.3ポイント）と改善に転じた。

項目別では、売上D I（▲46.7→▲38.9）、採算D I（▲66.7→▲38.9）、金融貸出しD I（▲6.7→▲5.6）は、いずれも改善に転じ、とりわけ採算D Iは27.8ポイントの大幅なプラスとなっている。従業員D I（13.3→22.2）についても3期連続の改善となったが、人手不足感は増加。唯一、仕入単価D I（▲60.0→▲72.2）のみ悪化に転じている。

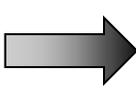
向こう3か月の業況は、▲38.9と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

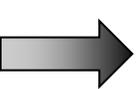
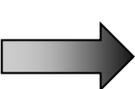
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

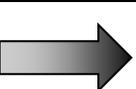
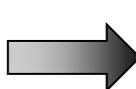
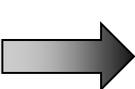
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

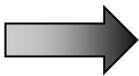
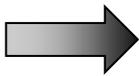
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

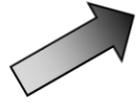
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

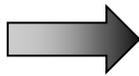
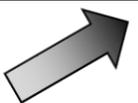
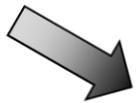
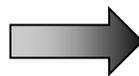
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

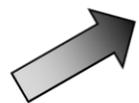
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

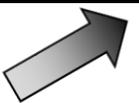
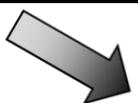
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

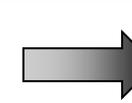
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

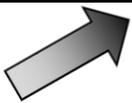
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

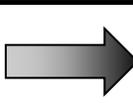
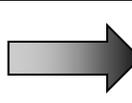
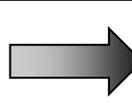
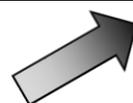
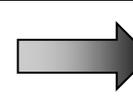
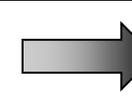
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

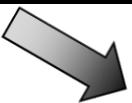
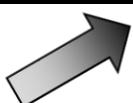
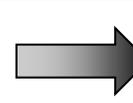
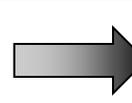
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

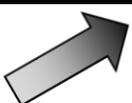
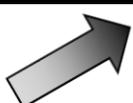
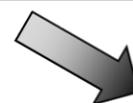
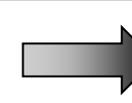
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

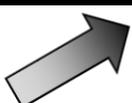
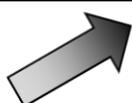
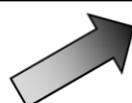
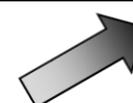
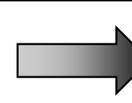
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・この時期、売上ウェイトの高いプライダル及びホテル関係の落ち込みが顕著。中でも原料売りが大口中心に大きく減少しているのが業況悪化の要因。原材料価格の下落で何とか利益は確保するも、料亭、外食、ギフト関連含め上半期は厳しい予測。

製造業（工業製品）

- ・4月の水晶業界の統計では、生産実績、受注実績とも前月に対し4%程度ダウンしております。理由として、車載市場は堅調でしたがスマホ市場の不振が響いています。スマホ市場の回復は北米向け新スマホが立ち上がる夏以降と予想します。

製造業（ニット・アパレル）

- ・産休等、従業員が以前よりだいぶ減っているため、売上も大幅に減っています。
- ・経費の削減により採算ベースを維持。

【建設業】

建設業（建築）

- ・相変わらず技術者が足りません。

建設業（鉄鋼）

- ・原材料不変、次年度への繰り越し物件多し。

【小売業】

小売業（趣味・日用品）

- ・売上の的にはここ数年横ばいが続いているが、歩行量（街来者数）が激減していることが問題です。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・前年と比較すると売上は悪化。4・5月の連休以後の落ち込みは想像以上のものでした。向こう3か月も夏休みを期待したいと思います。

サービス業（観光）

- ・ゴールデンウィーク・休日は天候に恵まれ、人手は例年並みに出たようですが、売上は例年より少ないようでした。
- ・売上高は4月は前年比増も、5月のGW期間がやや低調。仕入（軽油）の値上がりが続き、今後の原油価格を注視しています。

サービス業（飲食その他）

- ビールを含めあらゆる食材の値上がりによって、利益率はどうしても悪化傾向になってしまう。従業員については、人手不足が常態化してしまい人件費の上昇が大きな問題点である。
- 先日、シラスウナギの漁獲量が過去 2 番目の低水準という報道がありました。取引価格は最高値を付けています。これから私たちに供給される仕入価格も一層高くなると予想されます。厳しい！！

以上